

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	厚木警察署新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県厚木市水引1丁目235番1	構造	SRC造
用途地域	商業地域(防火地域),第一種住居地域(準防火地域)	平均居住人員	250 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,集会所,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2015年11月20日
敷地面積	3,588 m ²	作成者	株式会社佐藤総合計画一級建築士事務所
建築面積	1,168 m ²	確認日	2015年11月20日
延床面積	5,438 m ²	確認者	株式会社佐藤総合計画一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値, ②建築物の取組み, ③上記+②以外の, ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア= 3.3	Q2のスコア= 3.6	Q3のスコア= 3.1
音環境: 2.5, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.2, 空気質環境: 4.3	機能性: 3.4, 耐用性: 4.0, 対応性: 3.6	生物環境: 2.0, まちなみ: 4.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.3	LR2のスコア= 2.9	LR3のスコア= 3.0
建物外皮の: 3.8, 自然エネ: 4.0, 設備システ: 3.0, 効率的: 3.6	水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.8, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 警察署として、周辺の住環境に配慮し、堅牢な施設となる。		既存基礎の解体工事で発生する振動等が、近隣に与える悪影響を軽減するため、防震溝を設ける。また、近隣に近い部分の基礎解体は、ワイヤーソー工法を採用している。
Q1 室内環境 自然通風を行い、省エネに配慮した環境整備を行なう。	Q2 サービス性能 1階に一般来庁者のサービス窓口を集中して設置して、利便性を向上させている。	Q3 室外環境 (敷地内) 警察署として、周辺住環境に配慮している。敷地周縁部に緑地帯をなるべく連続させて設け、小動物の移動等に役立つ空間を設けている。厚木市で良くみられる、アラカシ、ウラジロカシを積極的に高木として植栽している。
LR1 エネルギー 太陽光パネルにより、自然エネルギーを積極活用している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用している。	LR3 敷地外環境 国道246号側に対して、車両は出庫のみとして、警察車両等の出入りが国道246号に与える交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される